

# 日本電子(株)中間決算説明会

**JEOL**

( Japan Electron Optics Laboratory )



平成14年12月9日

# Contents

平成15年3月期中間決算の概要と

今後の業績予想

専務取締役 大塚 東

経営方針の重点

代表取締役会長兼CEO 江藤 輝一

司会進行 取締役 松浦 文康

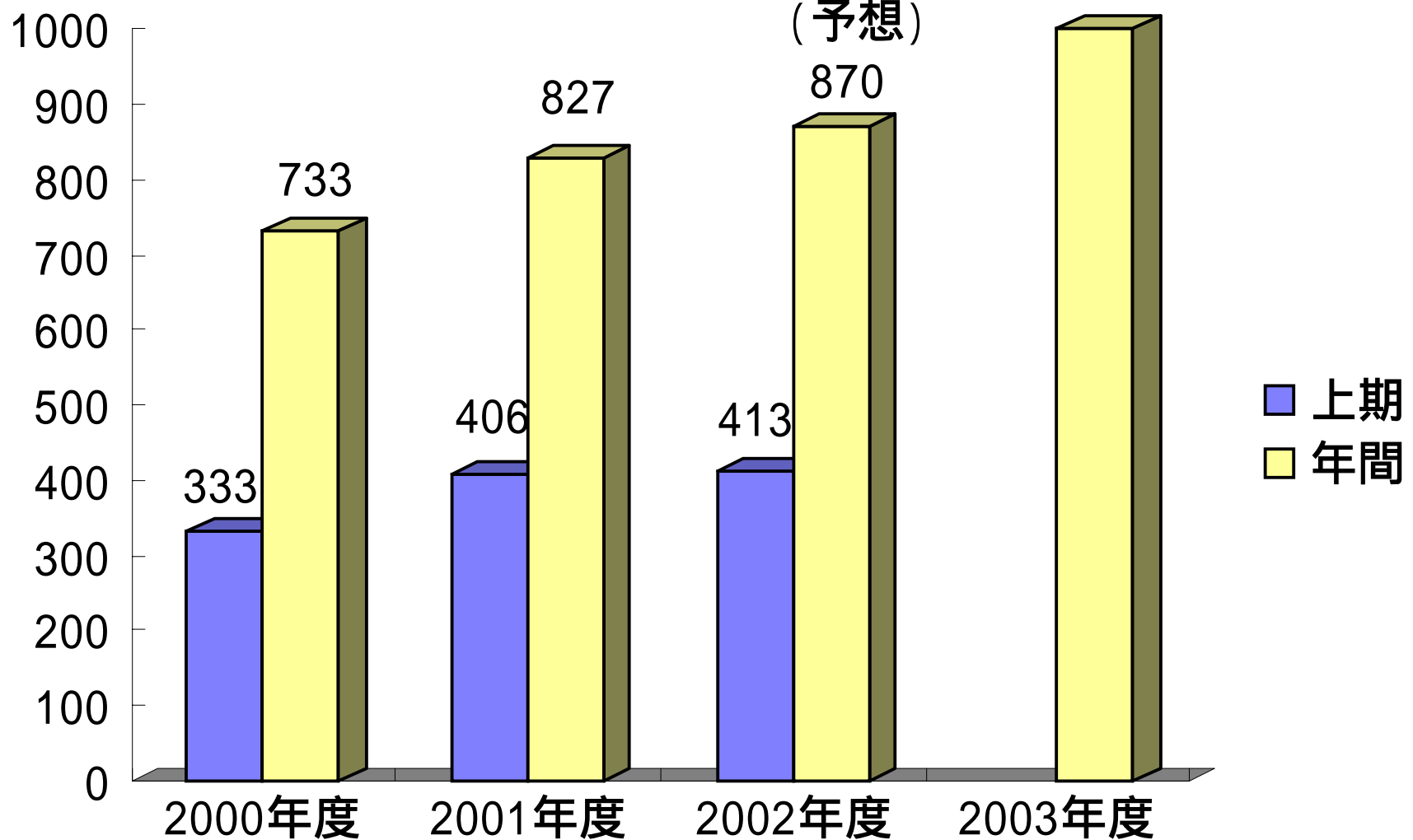
# 平成15年3月期中間決算概要 と今後の業績予想

専務取締役 大塚 東

# 売上高(連結)

億円

(BP1000)

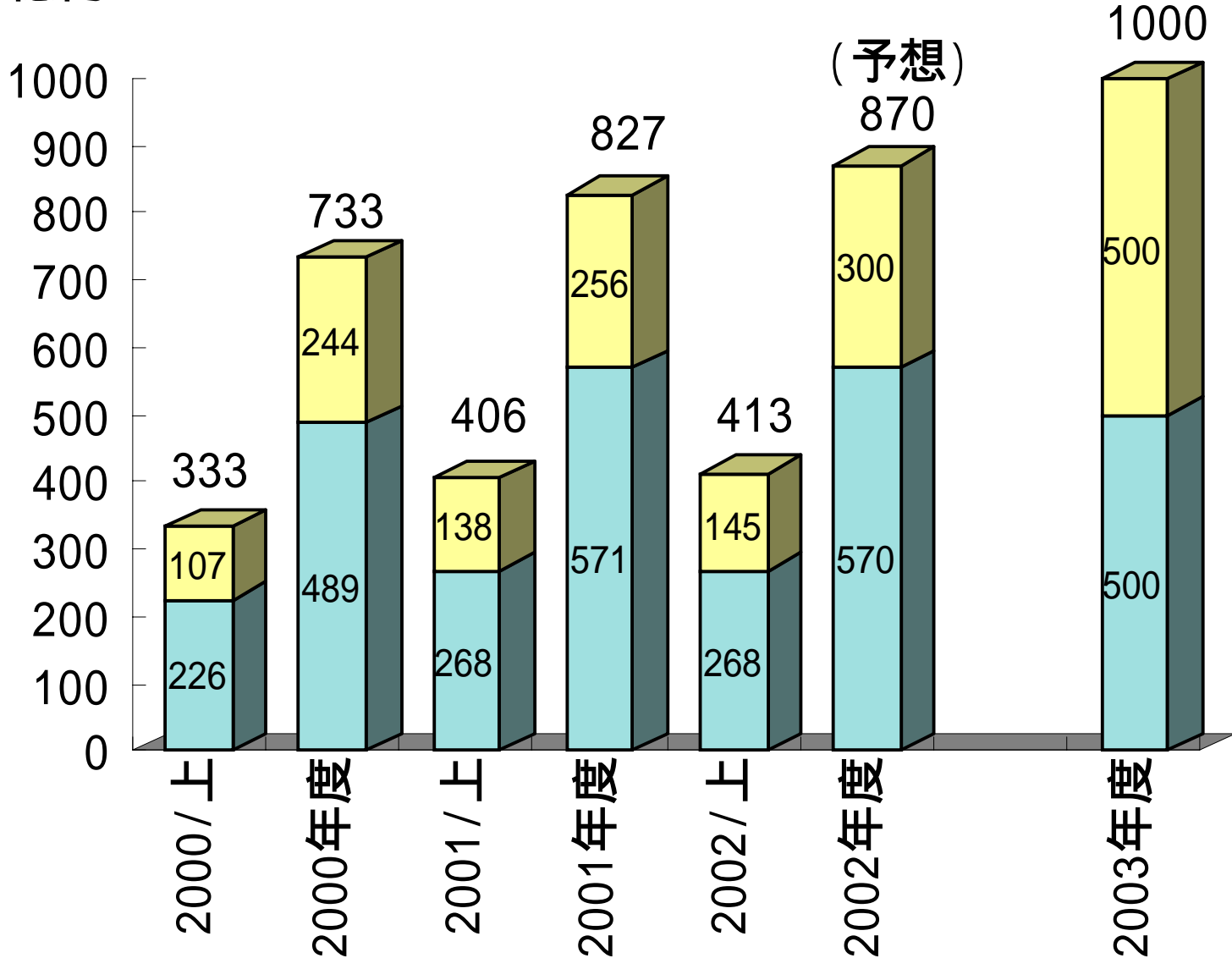


# 事業の種類別売上高(連結)

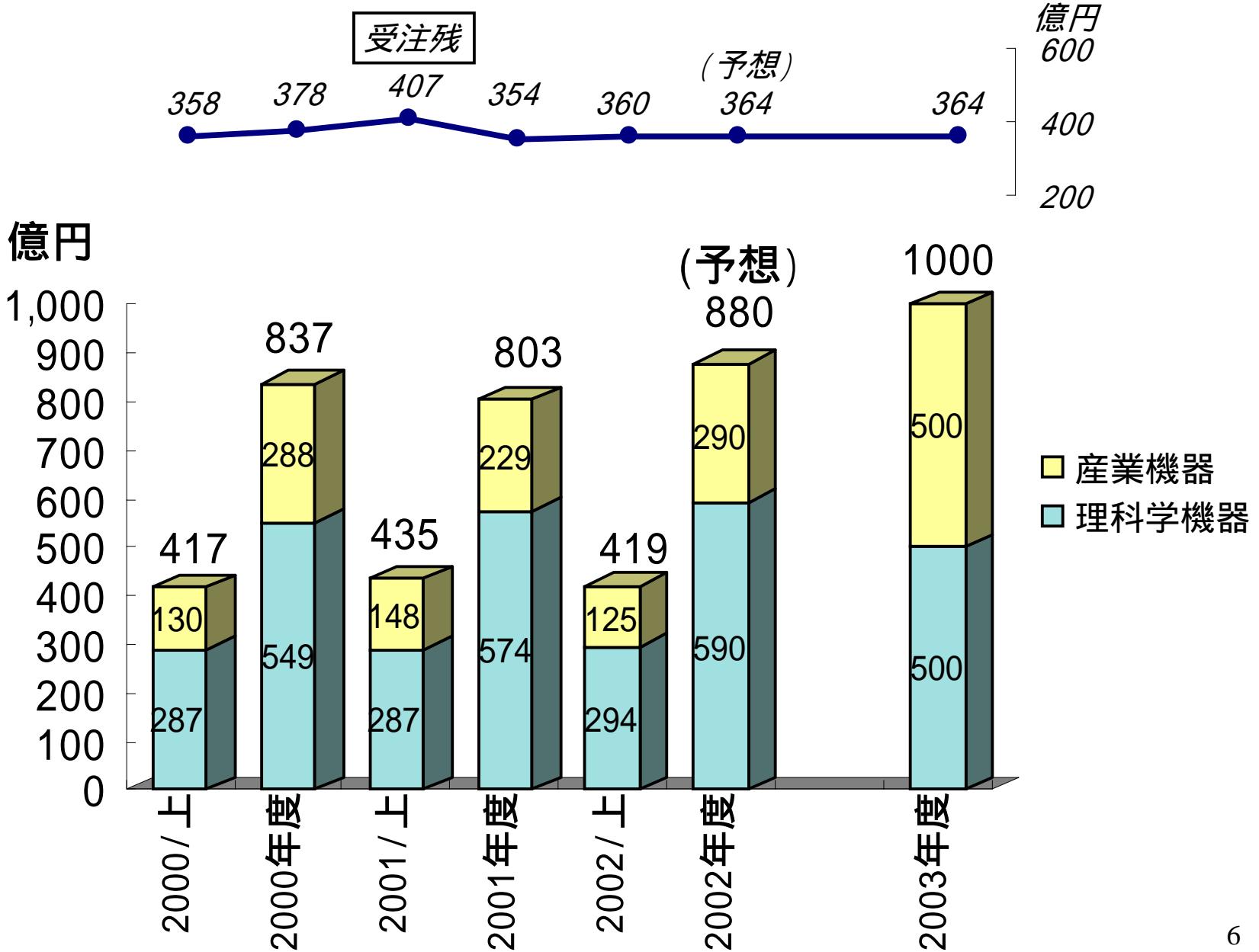
- 産業機器
- 理科学機器

億円

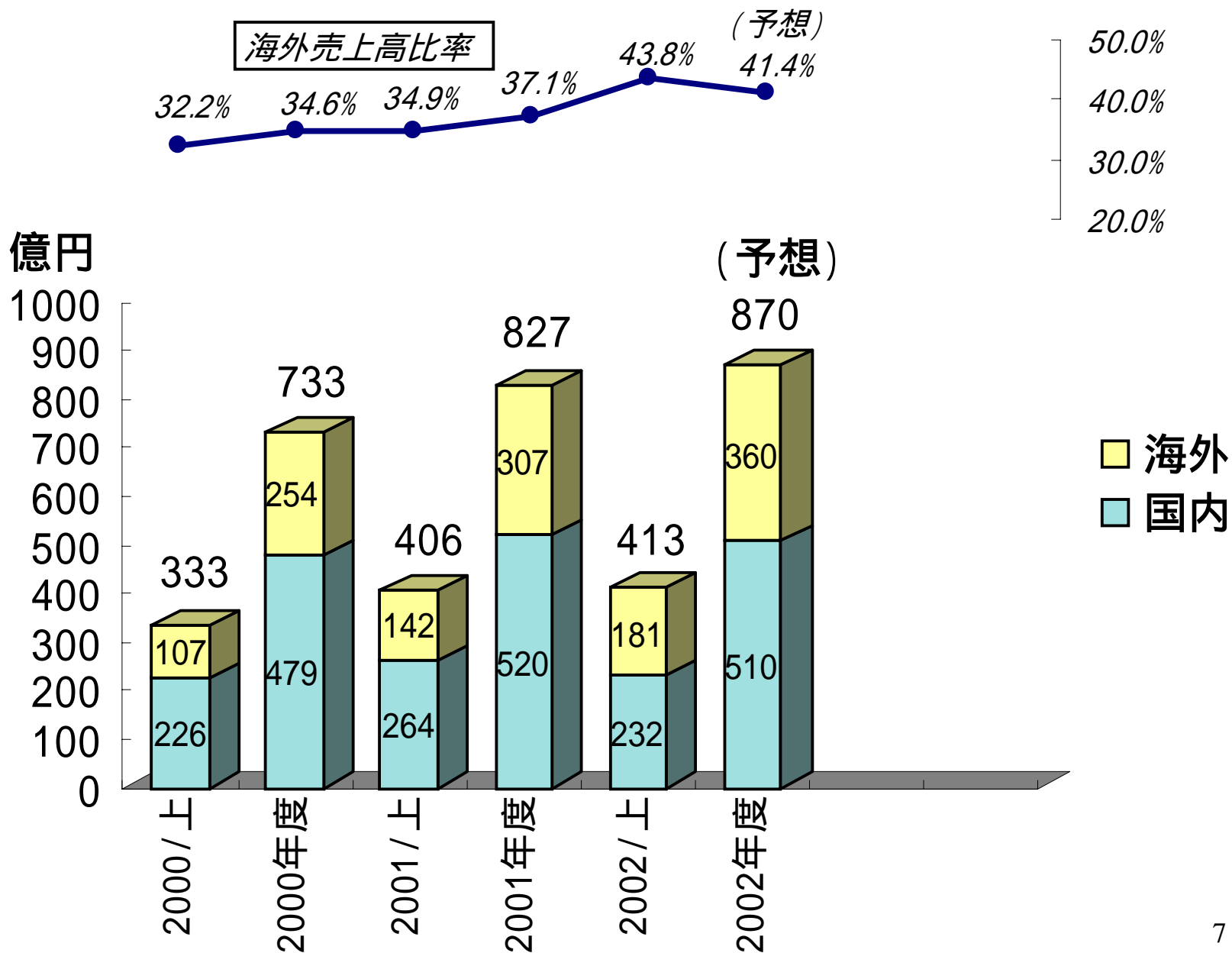
(BP1000)



# 事業の種類別受注高と受注残(連結)



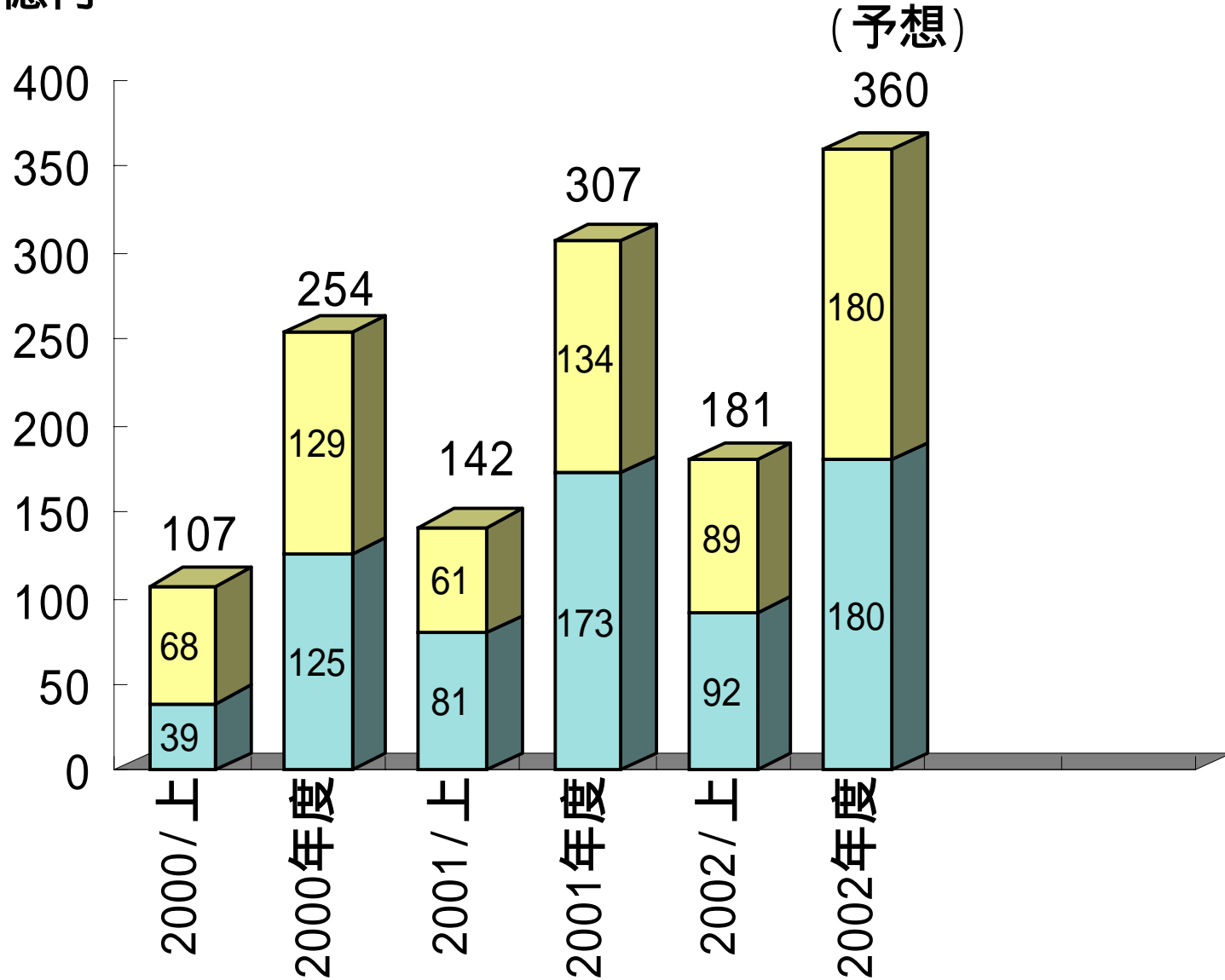
# 海外売上高と海外売上高比率(連結)



# 海外売上高(連結)

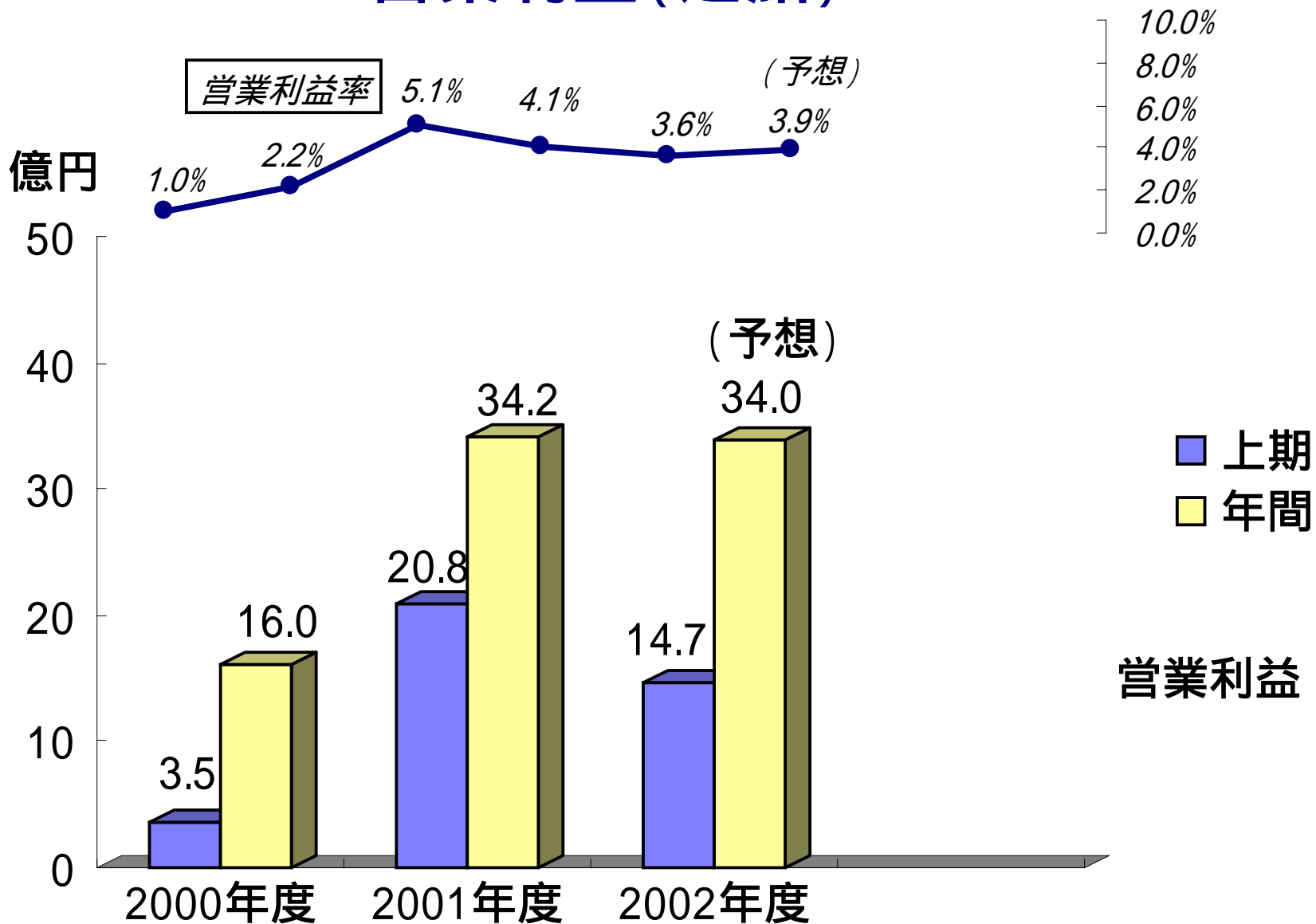
- 欧州・アジア他
- 北米・中南米

億円



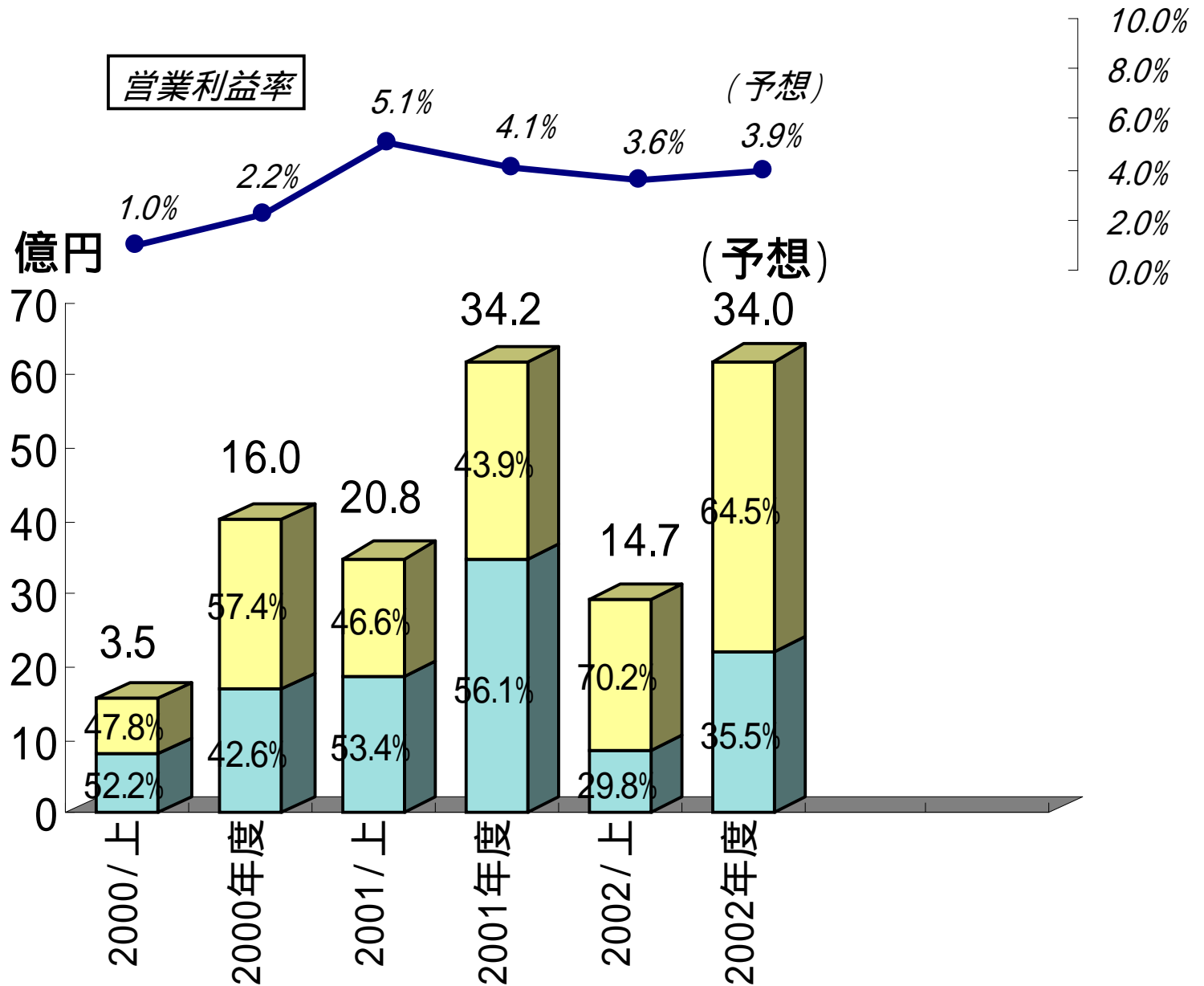


# 営業利益(連結)

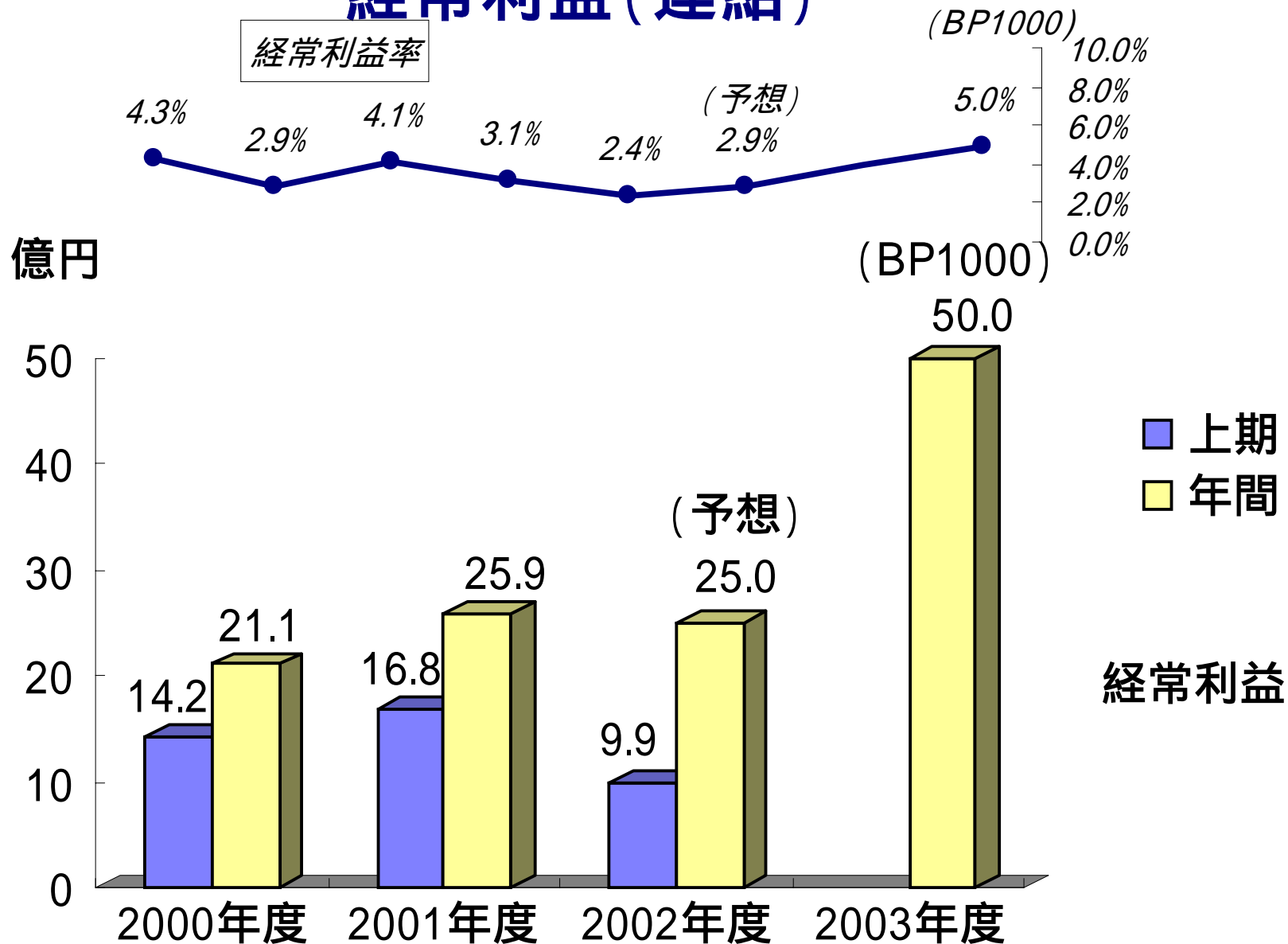


# 事業の種類別営業利益(連結)

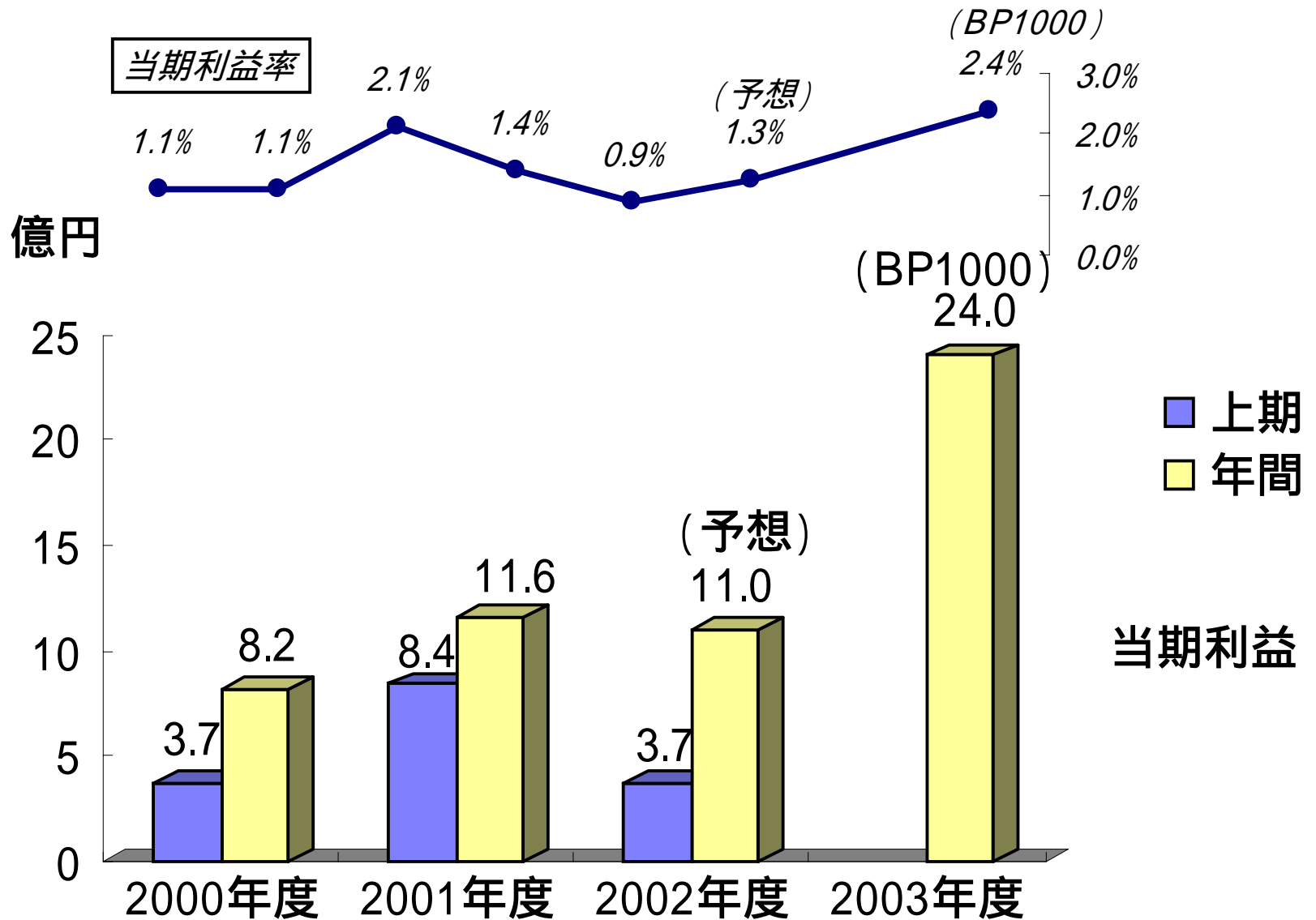
- 産業機器
- 理科学機器



# 經常利益(連結)

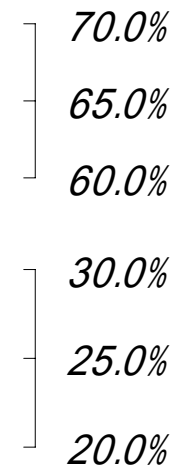
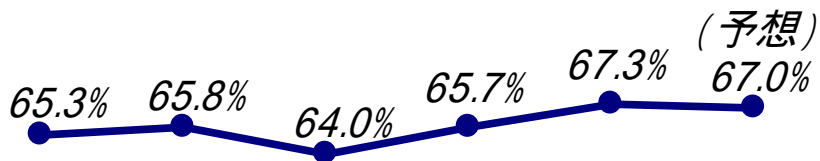


# 当期利益(連結)

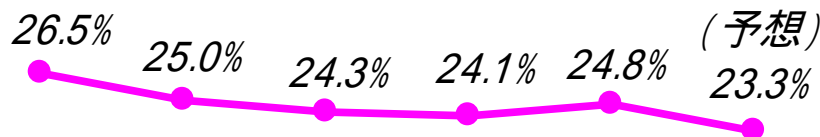


# 原価率と販管費率(連結)(研究開発費を除く)

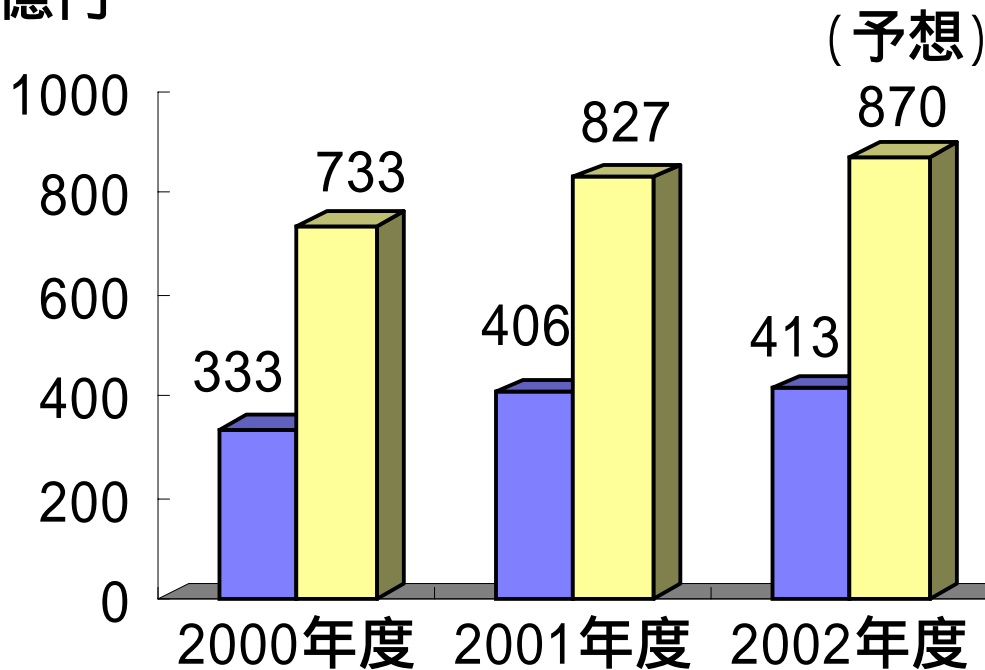
原価率



販売管理費率



億円

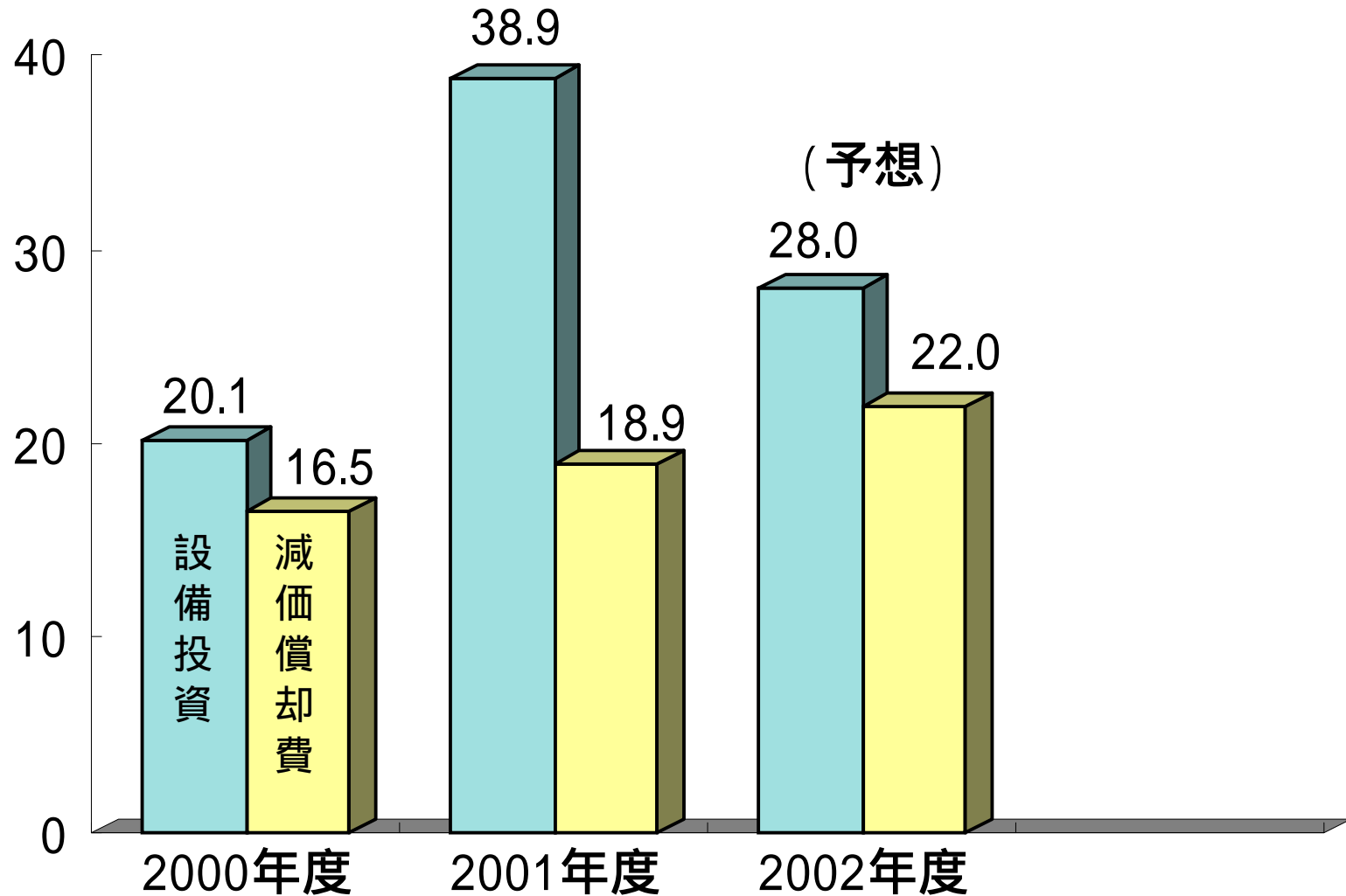


■ 上期  
■ 年間

売上

# 設備投資と減価償却費(連結)

億円

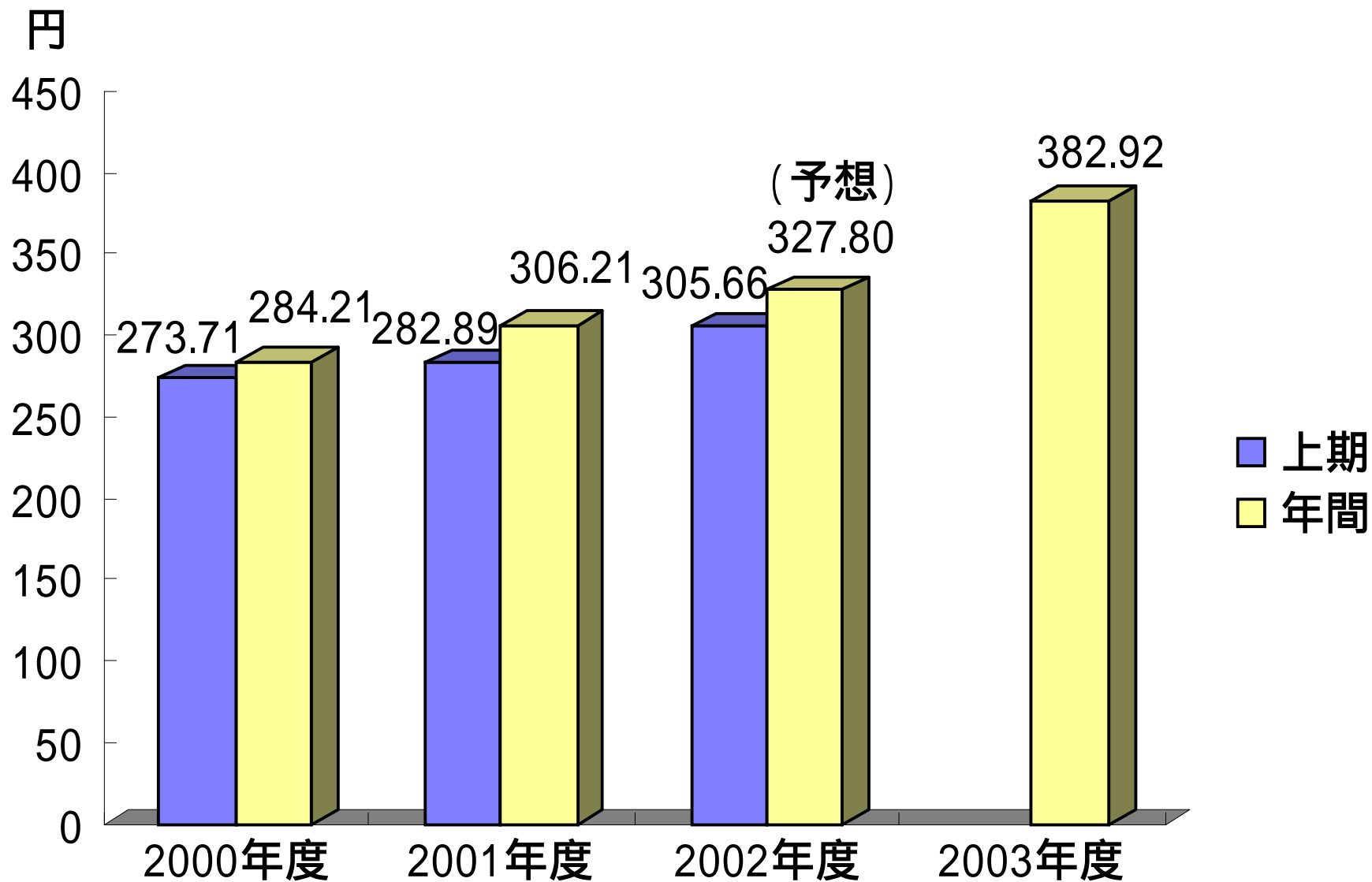


# 貸借対照表(連結)

単位:億円

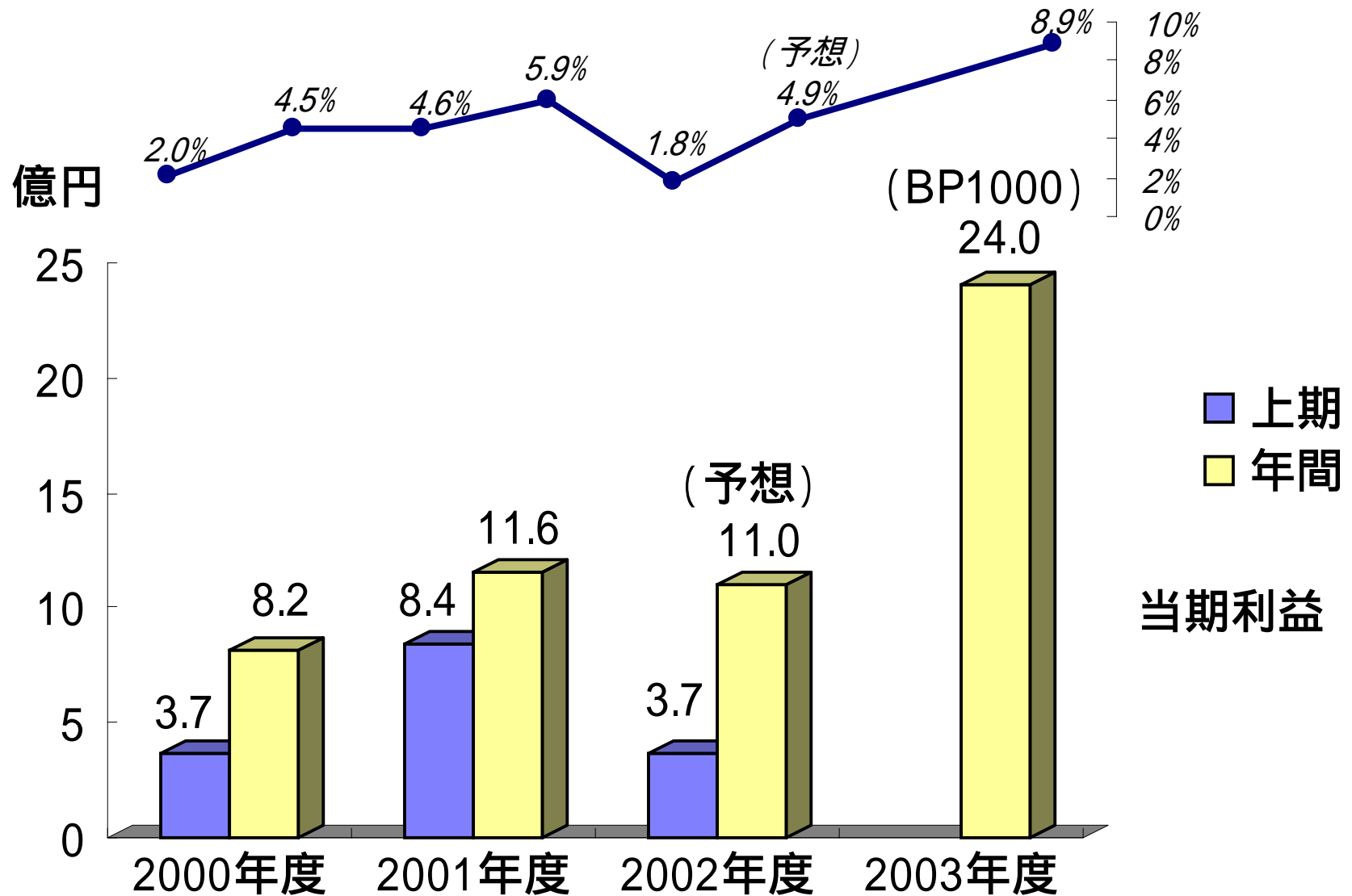
	2001年3月	2002年3月	2002年9月	2003年3月	2004年3月
流動資産	670	683	690	625	687
内売上債権	267	267	265	265	275
内棚卸資産	266	310	316	280	170
固定資産	176	195	193	198	208
総資産	846	880	883	823	895
流動負債	565	519	528	458	489
固定負債	96	151	144	128	108
株主資本	184	209	211	237	296
株主資本比率	21.8%	23.7%	23.9%	28.8%	33.1%

# 1株当たり株主資本(連結)

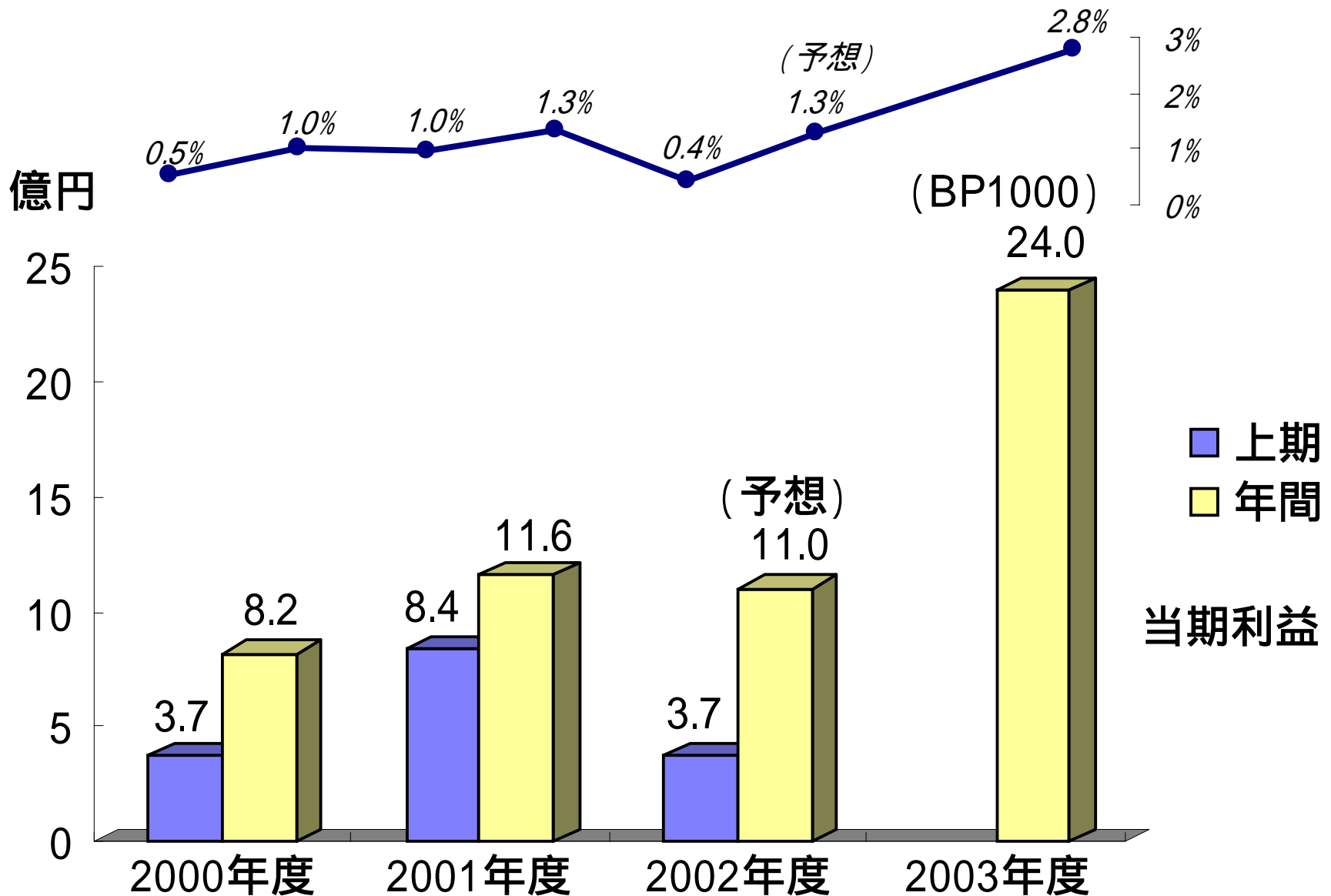




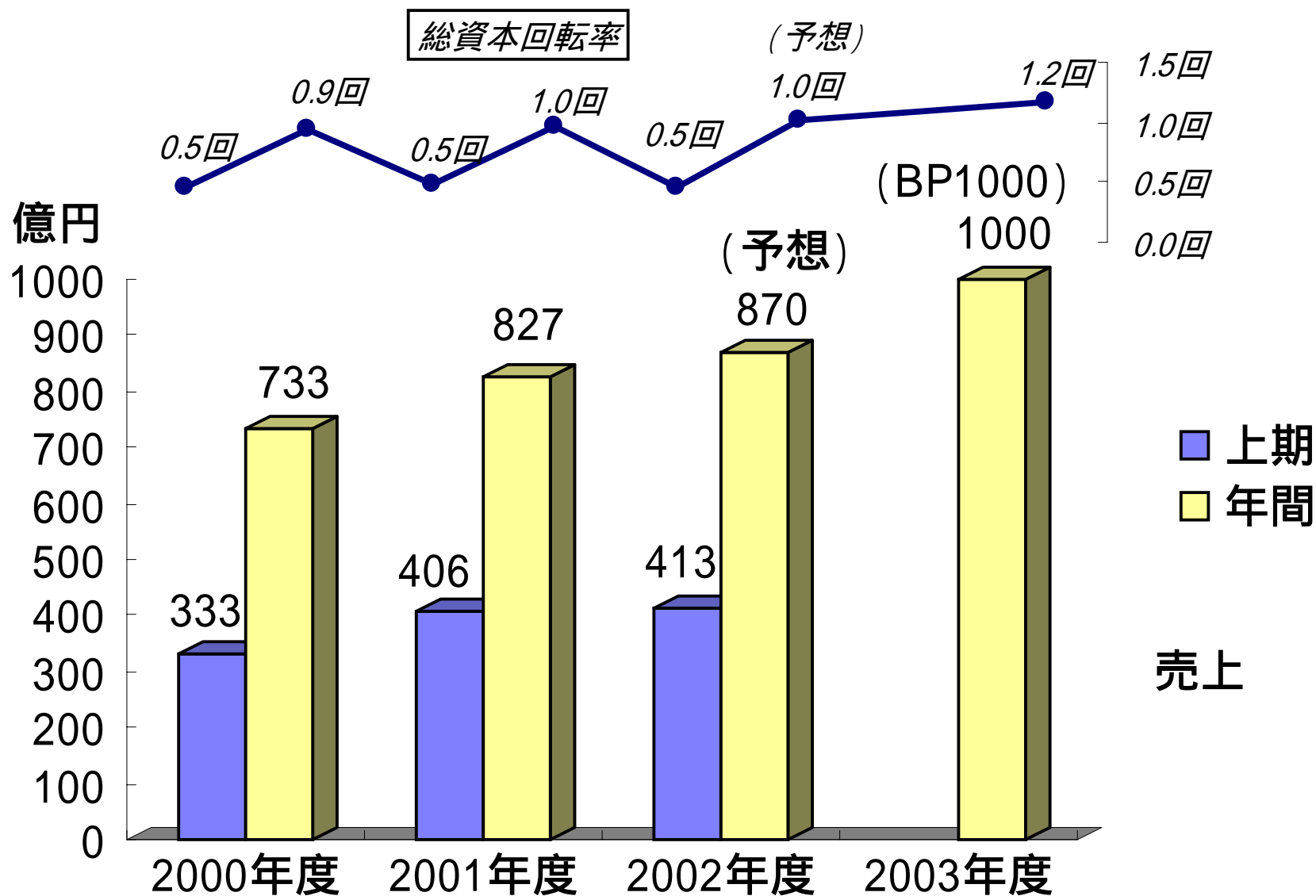
# ROE [株主資本利益率] (連結)



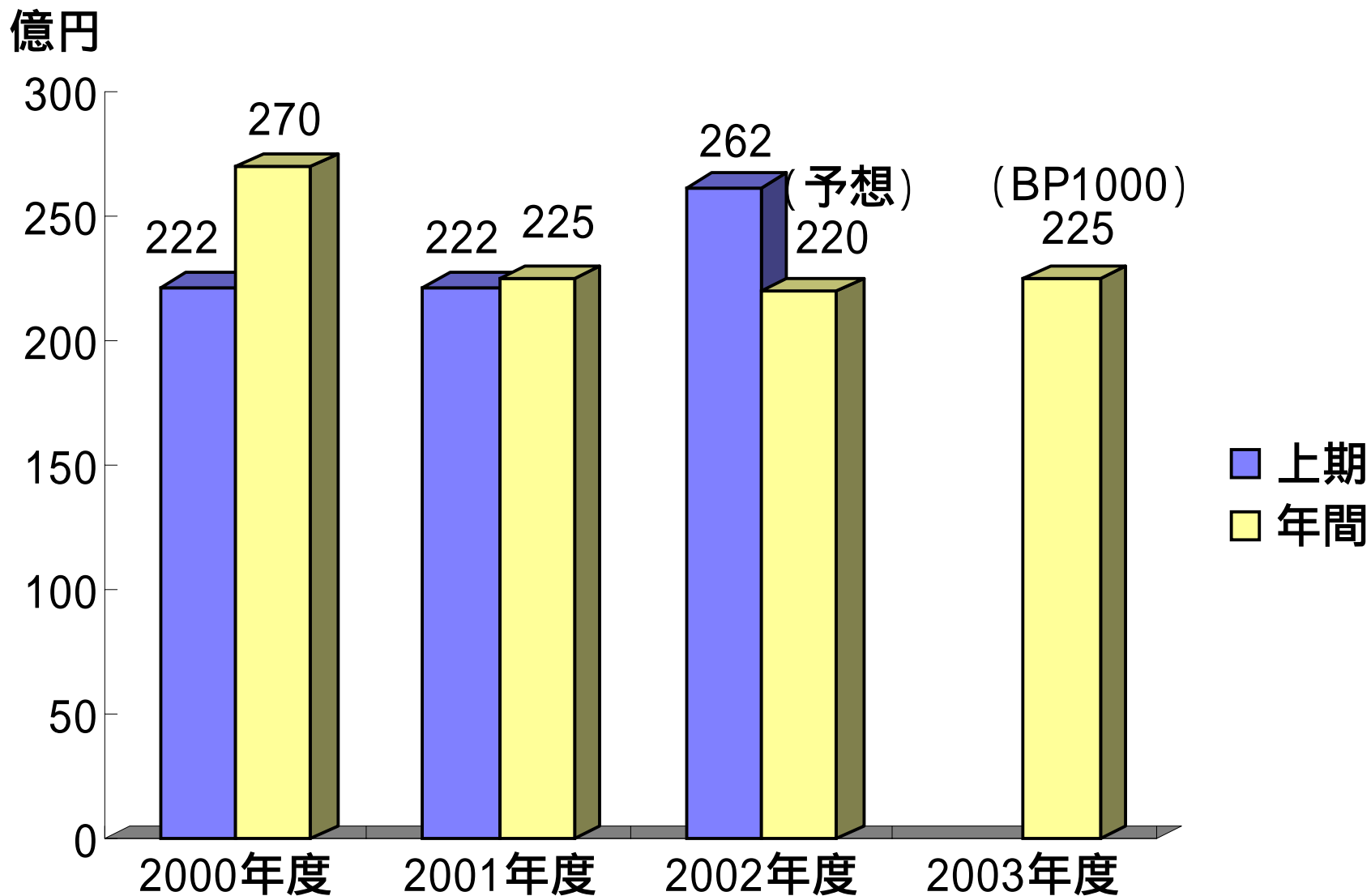
# ROA [総資産利益率] (連結)



# 総資本回転率(連結)



# 有利子負債(連結)



# 経営方針の重点

2002.12.9

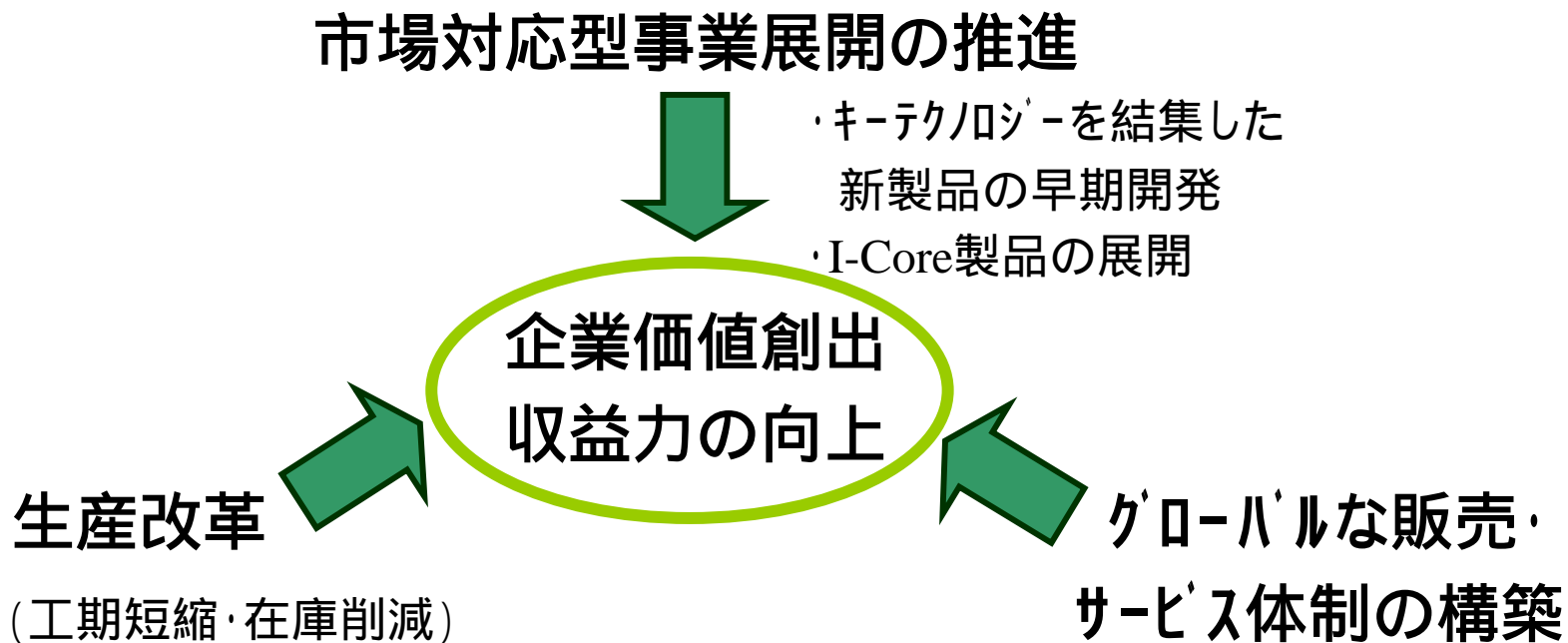
**JEOL** 日本電子株式会社  
代表取締役会長兼CEO **江藤 輝一**

# • グループ経営ビジョン

Twin Core { Scientific Core  
Industrial Core

Triple Mission { 1. JEOL No.1 solution  
2. JEOL Global Network  
3. JEOL Innovation

# • 中期経営計画 **Bright Plan 1000** (2001fy ~ 2003fy)



# 理科学機器

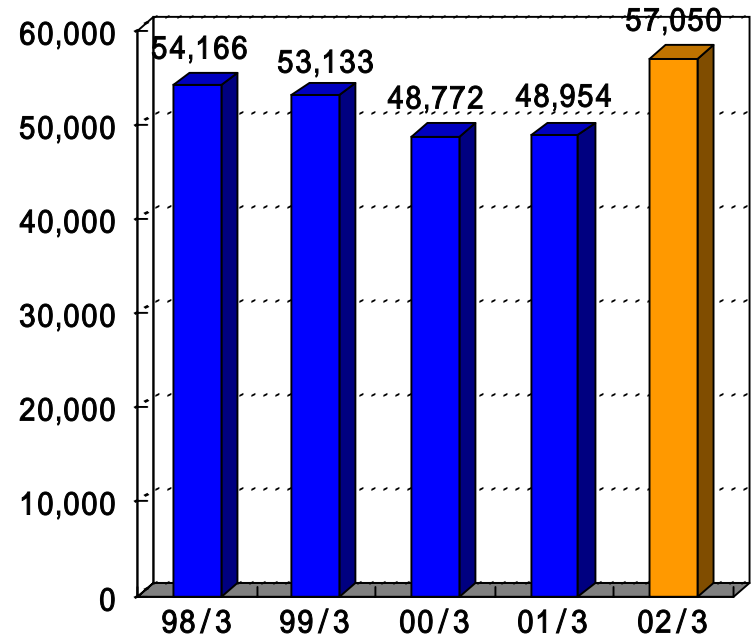
## 市場動向

### ➤ 世界的なナノテクノロジー-研究の加速

- ・ 日本:官民共同事業の推進  
(2003年度から実用技術への集中投資)
- ・ 米国:2001年422百万ドル  
2002年604百万ドル
- ・ 欧州:EU第6次研究計画  
(2003年~2006年)13億ユーロ
- ・ アジア:中国...40ヶ所の研究拠点の整備  
台湾...2007年までに6億ドル  
韓国...10年間で約13億ドル

### ➤ バイオテクノロジー-の推進による産業競争力の強化

売上高

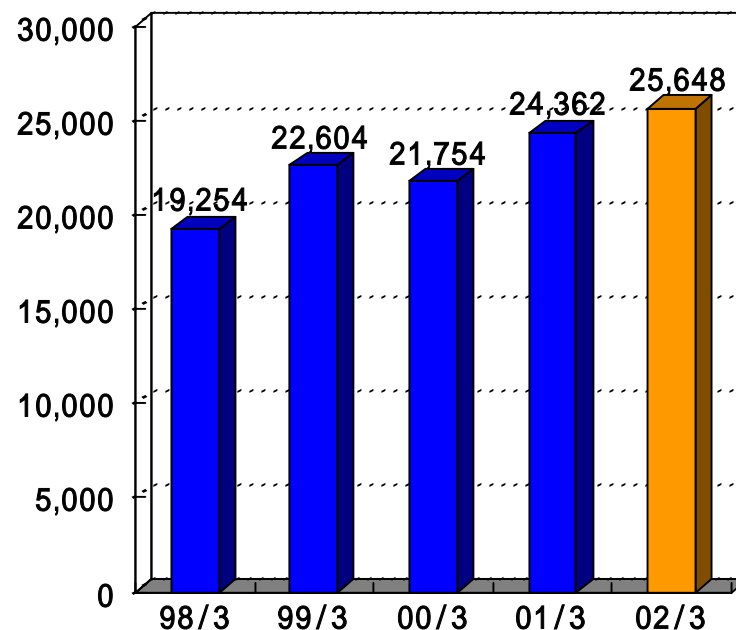


# 産業機器

## 市場動向

- 半導体関連：
  - ・ 半導体市場は依然として厳しい
  - ・ 半導体メーカーの協業化
  - ・ 次世代マスク描画装置への需要堅調
  - ・ 日本では、情報通信分野(次世代半導体材料・プロセス基盤技術等)での官民共同事業の推進
- 成膜関連：
  - ・ IT関連投資は回復せず低迷が続く
- 医用関連：
  - ・ 医療費抑制傾向の中で検査単価を低減できる自動分析装置の需要は高い

## 売上高





# Bright Plan 1000 二年目の基本戦略

- 開発：新製品の投入継続(高付加価値商品へのシフト)
  - ・ 100nm対応次世代マスク描画機の投入
  - ・ 既存機種30%入れ替え続行(2年目)
- 生産：コスト削減策の実効享受
  - ・ 在庫削減：“生産プロセス改革”の断行
  - ・ 山形工場本格稼働：出荷前倒し(1号機2002.5末出荷)
  - ・ 中国(北京)工場本格稼働
  - ・ 国内のプリント基板、板金加工部門を整理し、アウトソーシング化
  - ・ 主力量産装置(FE-SEM)の工期を1/3に短縮

# Bright Plan 1000 二年目の基本戦略

## ➤ サービス

- ・ 総合コールセンター稼働(東京・立川)、ITC/国際研修センター、IPC/国際パーツセンターの拡充と強化

( ITC・IPCは東京・昭島)

## ➤ 協業・アウトソーシング

- ・ セイコー・インスツルメンツ(株)製FIBの海外販売
- ・ ホロン社製マスク用CD-SEMの海外販売(100nm対応)
- ・ 販売代理店の強化&整備

## ➤ JEOL ASIA PTY.LTD.(シンガポール)の強化

- ・ アジアにおける販売・サービス・調達機能の拠点の構築

# 下期への重点施策

## 1. 年間売上高870億円の確保

- 透過電子顕微鏡の拡販
- 新製品の市場への導入

### < 当社製品の関連市場 >

#### ナノテクノロジー・材料関連

超高分解能分析電子顕微鏡・走査電子顕微鏡・走査形プローブ顕微鏡・  
オージェマイクロプローブ・電子ビーム描画装置(直接描画)

#### バイオ関連

超伝導核磁気共鳴装置・飛行時間形質量分析計・透過電子顕微鏡・  
走査形プローブ顕微鏡・自動分析装置*BioMajesty*

#### 環境関連

質量分析計・蛍光X線分析装置・透過電子顕微鏡・走査電子顕微鏡

#### 半導体関連

電子ビーム描画装置・フィールドエミッション走査電子顕微鏡・ナノ解析電子顕微鏡・  
集束イオンビーム試料作成装置

# 2002年度売上計画

	機種名	2002年度 当初計画 (台数)	2002年度 修正計画 (台数)	市場状況等
理 学 機 器	透過電子顕微鏡	110	150	ナノテクノロジー・材料関連を中心に好調
	フィールドエミッション 走査電子顕微鏡	150	120	半導体関連の設備投資低迷により減少
	汎用走査電子顕微鏡	410	420	新製品JSM-6360LV、JSM-6460LVシリーズが 売上に寄与
	核磁気共鳴装置 (超伝導 + 永久磁石)	140	140	バイオ市場向け新製品JNM-ECAシリーズの順 調な市場導入
	質量分析計 (磁場型 + 飛行時間型)	120	110	ダイオキシン類分析専用質量分析計が需要一巡 JMS-T100LCの市場導入
産 業 機 器	マスク描画装置 JBX-9000MVシリーズ JBX-3030シリーズ	7	7	新製品JBX-3030シリーズの市場導入
	自動分析装置 BioMajesty	270	300	主力製品が国内外で順調 米国への輸出の始動

# 下期への重点施策

## 2. コスト改善策

- 高付加価値新製品の販促強化
- 新規設立の「山形クリエイティブ(株)」と海外合弁会社「北京創成技術有限公司」の本格稼働
- 調達、購買の効率化
  - ・ 東北地方へのアウトソーシング先のシフト及び拡大
  - ・ 海外での機械加工・ユニット組立
  - ・ 取引先の集約(231社 → 130社)
  - ・ プリント基板の生産を中国大連にアウトソーシングし、板金加工部門も整理後アウトソーシング実施
- 工期短縮・・・フィールドエミッション走査電子顕微鏡(JSM-6700F、JSM-6500F)の工期を1/3に短縮、他機種への展開
- 在庫削減・・・316億円から280億円

# 下期への重点施策

## 3. JBR (JEOL Group Business Process Re-engineering Committee) **業務改革**

**営業、技術設計、生産、管理の4大プロセスにおいて徹底した業務改革を推進(外部コンサルタントのアドバイスのもと実施)**

**営業プロセス改革 (SRC: Sales Process Re-engineering Committee)**

**受注精度向上、受注情報(納期、仕様)確定スピード改善、1,000億販売サービス体制構築、市場セグメント対応**

**技術設計プロセス改革 (DRC: Design Process Re-engineering Committee)**

**標準化、共通化、出図スピード改善、見積回答スピード改善、源流コスト改革**

**生産プロセス改革 (PRC: Product Process Re-engineering Committee)**

**納期遵守率改善、工期短縮、在庫削減、コスト改善、アウトソーシング、海外生産**

**管理プロセス改革 (ARC: Administration Process Re-engineering Committee)**

**グループ統合制度会計システム構築、統合管理会計システム構築、グループアカウントिंग、本社業務効率化**

# 資料取扱上のご注意

本プレゼンテーション資料及び弊社代表者が口頭にて提供する情報には、現時点で把握可能な情報から判断した、仮定及び所信に基づく記述が含まれています。

今後、経済情勢をはじめ半導体市況や研究開発投資など、弊社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、異なったものとなる可能性が否定できないことをご承知おき願います。

日本電子株式会社(JEOL Ltd.)は、本プレゼンテーションに記載された内容を更新する義務を負っておりません。